

令和5年度 アンケート調査の報告書

目的：	法人運営への参考及び運営改善等を目的とする
対象期間：	令和5年秋～令和5年度末
実地対象：	放課後等デイサービス職員及び、ご利用頂いている保護者様対象
調査方法：	アンケート用紙を配布
調査結果：	調査結果は下記の通りです

放課後等デイサービス自己評価表

放課後クラブすっぱあ（管理者・職員用）

環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		毎日外活動なので、問題ない。
	職員の配置数は適切であるか	○			職員1人あたり1～2人の利用者の担当のため、児童指導員を含め、大幅に上回る配置である。
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	現在は必要とする利用者はいない。

業務改善

業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			最低限の会議やミーティングにとどめ、毎日の朝礼やチームラインを活用している。	
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に1度アンケート調査を依頼、結果をもとに業務改善の参考にしている。	
この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	○			HPで公開している。	
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				○	現在は行っていないが、検討していきたい。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				職員のスキルもあがったので、強度行動研修等レベルの高い研修の参加を考えている。

適切な支援の提供

アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の送迎時に保護者とお話ししたり、面談の内容を年2回の個別支援計画書に入れている。	
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				○	子供の日々の様子を記録し、状況を把握する。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				複数の職員の意見を取り入れている。
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				複数の職員の意見を取り入れている。
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				子供の状況に応じて、随時支援内容を検討し、支援を行っている。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				個別活動から集団行動に移行できるように支援計画書を作成するようにしている。
支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				毎日朝礼を行っている。朝礼に参加していない職員には随時内容を伝えている。
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか				○	終業前に申し送り等を聞き取り、次の日の朝礼時に共有を行っている。
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				子供の帰宅後に担当した職員がケース記録の記入をしている。
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				個別支援計画書の作成前に、職員から聞き取りをしているので、保護者からの聞き取りも行う。
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか				○	ガイドラインに沿っての支援を心がけている。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議が開催される際には、施設長などの責任者が参加をしている。
学校と情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻等）、連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		各支援学校の放課後等デイサービス連絡会に参加をしている。スケジュールに不明点があれば、学校に問い合わせている。
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は医療的ケアが必要な利用者はいない。
就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	今年度は新小学1年生の利用はなかったため、今後、情報提供があれば共有する。
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		就労事業所からの情報提供依頼があれば、都度対応している。
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	必要に応じて検討をする。
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	感染症対策で積極的には行っていないが、地域のイベント等には参加することもある。
（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	案内があれば、参加するよう心がけている。
日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日の送迎時に直接保護者の方とお話しし、子供の状況をこまめに共有している。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	相談があれば支援を行っている。

保護者への説明責任等

運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		新規利用契約時に行っている。
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談があった場合、複数の職員と共有し、助言や支援を行うようにしている。
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は実施していない。
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合、施設長、理事長が中心となり、丁寧な対応を心がけている。
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログ更新、年4回の会報発行、毎月スケジュールをご家庭に配布している。
個人情報に十分注意しているか	○		個人情報を事務所から持ち出さないよう、日々職員に伝えている。
障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	○		細かなことでもお伝えしている。
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今年度は行わなかった。

非常時等の対応

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		年に1回改訂をしている。令和6年度から義務化される業務継続計画を策定した。
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震や津波など、様々な想定で行っている。
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内ミーティングや朝礼で確認をしている。
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		事業所内である程度話し合いはしており、実際にあった場合にもその日のうちに保護者に伝えるようにしている。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在、指示書が必要な利用者はいない。保護者からの申告には、対応している。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		担当の子供のヒヤリハットがあった場合、記入してもらおうほか、聞取りも行っている。